



半貫 光芳
(統一)

**26年度中期財政計画
財政規律は適切か**

問 21年度までは、基金を活用しない中期財政計画となっていたが、リーマンショックによる急激な税収の落ち込みにより、基金を繰入しないと計画が立たない状況であったため、基金の繰入を前提とした計画となったと記憶している。

答 今回、景気は浮上しており、リーマンショックは終わっているが、今年の中期財政計画も基金の繰入を前提としている。事業があるからといって基金を活用する、このような計画は、財政規律の点で、本来の中期財政計画の趣旨から大きく逸脱しているのではないかと

答 今回の計画について

は、市税収入の増加が見込まれるものの、社会保障関係経費の増加や、複数の大型建設事業が集中することなどが見込まれる。

これらに対応するため、歳入の積極的な確保や歳出の抑制に取り組むとともに、残高に留意しながら市債や基金の活用を図るなど、「計画している事業の円滑な実施」と、「財政運営の長期的な安定性の確保」の両立に向け取りまとめたものであり、これまでどおりの目的に沿って策定した。

基金については、財政の健全性を維持しつつ、年度間の財源調整を図るため、残高の目標に留意しながら、計画的に活用を図ることとしたものであり、財政運営上、適切な対応と考える。

その他の質問項目

- ①TPPと農業政策 ②LRT
- ③家屋の適正管理 ④公共施設での喫煙 ⑤教育行政



西 房美
(改革)

**事業者に対し
適切な指導を**

問 ある事業者の不適当な下水道の利用と施設について聞く。

①施設内の地下水をくみ上げ、長年に渡り、市へ届出せずに排水を下水道に流していたが、市の指導に従い、メーターを取り付けた事例があると聞いている。その他、敷地内の別の場所に井戸を掘り、無届けで下水道に流しているようだが、どのように指導しているのか。また、下水道料金は徴収しているのか。

②建築基準法や消防法にも違反しているそうだが、事実か。

答 ①井戸水を使用し、公共下水道に排水する事業者に対し、メーター設

置と開始届出について、ホームページなどで周知しているほか、市の排水設備指定工事店に対して毎年、事務連絡会で指導の徹底を図っている。

この事業者については、現地調査を行い、メーターの設置などを指導し、計量実績を基に過去に遡って使用料を徴収するなど、厳正に対処する。

②建築主立会いのもと、現地調査などを実施した結果、建築確認などの申請がないまま増築されていたので、建築主に、施設が法律に適合していないことを伝えるとともに指導を行っている。



▲メーター

その他の質問項目

- ①自治会の問題 ②街路樹の剪定 ③ごみ収集運搬業務委託の入札制度の見直しと市役所と関係があるごみ収集運搬業者への市職員OBの再就職 ④民間企業に4年間にわたり無償で貸している16階レストランと1階の喫茶店 ⑤農業問題と農業委員会の役割 ほか



荒川 恒男
(共産党)

**LRT導入計画の
全体像を示し、
民意を反映すべき**

問 事業費が駅東側整備区間だけでも約445億円に膨れ上がった。この際、導入計画の全体像を、総事業費を含めて示すのが先決であり、説明責任が果たせないのなら、導入作業はストップすることが当然と思うがどうか。

来春はLRT建設が画期となる時であり、佐藤市長も改めて市民の審判を求める勇気はあるか。または、住民投票を自ら提起するつもりはあるか。

答 LRTを中心とした公共交通ネットワークの実現に向けて、持続的に発展する将来のまちづくりを見据え、国や県、周辺市町、有識者や関係機

関との協議を経て段階的に丁寧な市民への説明に取り組んできたところであり、また、議会と執行部との間で長年にわたり議論を重ねて進めてきた。

今後、市の将来のまちづくりを支える公共交通ネットワークの要としてLRTが重要な役割を担うこと、また、今回の概算事業費の増額によっても、市の財政規模で十分に対応できることなどについて、市民に理解してもらえよう、あらゆる機会を通じて分かりやすく丁寧に説明し、市議会の意見を十分に聞きながらLRTの導入に向け、全力で取り組んでいく。



▲オープンハウスの様子

その他の質問項目

- ①子どもたちのための「子ども・子育て支援新制度」 ②高齢者の暮らしを支える介護保険に ③高齢者外出支援事業の充実を ④市民の安全・快適な暮らしとオスプレイ ⑤市南部地域の諸問題

※中期財政計画…中期的な財政収支の見通しを立て、現在及び将来の問題点を捉え、財政運営の健全性を確保するための対応策を明らかにし、総合計画実施計画の策定や予算編成・執行及び日常の行政管理に当たっての指針とするもの。